

# < 実践事例 西東京市立谷戸第二小学校 >

## 1. 取組・活動名

「わたしたちの町はすてきな町～見のがしてたね西東京市～」

## 2. 取組・活動のねらい

○町の良さや課題に気づき、地域の一員としてよりよい町づくりに主体的にかかわろうとする児童を育成する。

## 3. 教育課程上の教科名・時数

「総合的な学習の時間」・「70時間」

## 4. 実施上の工夫

- ・探究するための学習材として「見のがしてたね西東京市」の旗を取り上げ、この旗を作成した市役所の方に直接インタビューをする場面を設定した。
- ・見のがしていることの一つに、西東京市の花に関わる活動があるということに気づき、花に関わる活動をしている市役所のみどり公園課の方、花の会の方、地域のボランティアの方たちと一緒に、花いっぱい運動に参加し、コスモスを植える活動を行った。
- ・活動を地域に知らせるために、チラシやポスターなどを作成し、配布した。
- ・「見のがしてたねガイドマップ」を作成し地域に配布した。

## 5. 本取組・活動の内容



- ・「見のがしてたね 西東京市」の旗について、自分たちが見のがしてた西東京市は何なのか、どういう思いでこの旗ができたのかということを知るために、市役所の方に話を伺った。
- ・見のがしていたことを調べ、「見のがしてたね新聞」を作成し、発表した。
- ・「見のがしてたね新聞」の中から花に関する記事を取り上げ、「みのがしてたねガイドマップ」を作成した。また、地域のいろいろな施設におかせていただいた。



- ・花がきれいな町ということに気づき、地域の花いっぱい運動に参加した。
- ・校舎脇の花壇を市役所の方や西東京花の会の方、地域のボランティア、育苗センターの方、造園会社の方など、多くの人に関わり、一緒に1000株3000本のコスモスを植えた。
- ・コスモス畑を地域に周知するためにチラシを作成し、配布した。



- ・コスモスが枯れた後の花壇をどうするか話し合い、自分たちで次の花を植える計画を立てた。
- ・冬から春にかけて咲く花やおすすめの花を花の会の方などにインタビューした。
- ・植える花の種類と花壇のデザインを考えた。
- ・花の会の方々に再度協力していただき花を植えた。
- ・その後、花を植えたことを地域に発信した。

## 6. 成果

- ・花いっぱい運動に参加することで、市役所の方の願いや、町を良くしようとしている地域の方の努力を知ることができ、一人一人が地域をより良くしていく一員だという自覚をもつことができた。
- ・探究と協働の活動を通して、一人一人が課題意識を明確にもち、主体的な学びとなった。
- ・コスモスを植えたことや、自分たちで花を植えたことなど、花いっぱい運動を行い地域住民へ知らせることで、地域の方が花壇を見に来てくれた。また、そのことについての、地域の別々の方からお礼の手紙や励ましの手紙が届いた。そのことも、自分たちの取り組みについて地域の人から反響があったことで、自分たちも地域の一員なんだという自覚をもつ一つの要因となった。また、その手紙によって、さらにやりがいを感じたり、自己肯定感を育てたりすることにもつながった。